



学校だより

令和7年10月31日(金)
第865号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

マウンド

校長 鈴木 晴雄

歯を食いしばってゴールを駆け抜けた表情には達成感が！
額に汗をかきながら華麗に踊り切った表情には充実感が！

10月28日(火)、スローガン「ニコニコ 元気に 全力ing で 応援し合う 日進運動会」のもと、令和7年度日進小学校運動会を開催しました。

仲間の士気や意欲を高めた応援団、会場の一体感を作り上げた児童の実況中継、会場準備や片付けで御協力いただいた保護者の方々。皆さんの気持ちが1つになり、青空を突き抜けるほどのエネルギーとなって躍動しました。

日進小での運動会初体験の1年生。運動場に軽やかに現れたかわいい忍者。機敏な動きと柔軟性で、多彩なアクションと忍法を繰り広げてくれました。

まさに全力ダンスingの2年生。手には鮮やかなクラスカラーのポンポン。テンポの速い曲に合わせて、大きな身振りで元気いっぱい全力ダンスingしてくれました。

山形の花笠まつりを想像させた3年生。始めは思うように回せなかった花笠。華麗に回し、個と全体で躍動感あふれる花笠音頭を披露してくれました。

扇子を刀に見立て鬼と戦った4年生。緩急を組合せた4色の扇子の舞。扇子が呼吸を合わせて開いた瞬間、学級・学年が繋がり、1つになりました。

ブレイキンと2色旗を組合せた5年生。旗の動きでは、音と動きが見事に融合。空間をダイナミックに変化させた集団の美しさが、青空に鮮やかに映えていました。

日進小最後の運動会となった6年生。背中に想いを記した法被と学級旗がなびいた伝統のソーラン節。最高学年として、力強い迫力と仲間との団結力を示してくれました。

当日に至るまで、児童と教職員が工夫を凝らし改善を重ねてきました。事前指導では、児童が動画を見て振り返る場面もありました。児童一人ひとりが競技や演技の質を高め合う姿。より良いものを追求し、汗だくになりながらひたむきに取り組む姿。個の力が同じ方向を向いて1つにまとまったとき、想像を超える大きな力を集団として発揮します。

「マウンドに上がる時よりも降りるときに拍手の多い選手になりたい。」と言った投手がいたそうです。マウンドを降りるときは様々です。勝利して降りるときもあれば、打たれて降りるときもあります。拍手は、勝利した時だけに起きるものではありません。真剣に全力で取り組んだ姿に「よくやった」と心から思う人がいれば起きるものです。令和7年度日進小学校運動会というマウンドを全力で投げ続けた子どもたちに、心からスタンディングオベーションを送ります。

児童・教職員・保護者・地域の方々一人ひとりの高揚感と一体感で包まれた運動会。そして、共に高め合う仲間にも包まれた運動会。その中心で活躍したのは日進小の子どもたちでした。開校1年目から受け継ぎ紡がれてきた伝統や誇りは、今年153ページを迎えました。在校生・卒業生・保護者・地域の方々・教職員で、色鮮やかな153ページ目を創り上げ、次のページを紡いでいきましょう。